

第77期

# 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

## 株主のみなさまへ



代表取締役社長  
高橋 隆夫

### ご挨拶

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

### ●当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、東日本大震災から1年以上たっても復興事業は遅々としており、欧州問題、日中間で経済は低迷し円高も続き、市場は一層厳しさを増しております。輸出は円高の影響で価格で勝負することは難しくなり、いかに付加価値を増していくか、スピードを持って具体化していく必要があります。

このような経営環境のもとで当社は、リーマンショック後「グループ全体最適」を合言葉に社内改革とグループの再編を進め、本年4月に(株)山形チノーを当社事業所として統合し、国内子会社を含めた生産体制の再編をほぼ完了致しました。また、海外拠点では現地生産を推進し、為替リスクの少ない地産地消対策に取り組んでまいりました。

しかしながら国内の政治的混迷や国際競争の激化で経済減速が深刻化し、企業の設備投資は抑制傾向が続き、当上半期の売上高は7,736百万円と大幅にダウンし、経常利益は7.7百万円と不本意な結果となりました。

このような状況から、中間配当につきましては実施を見送らせていただきたいと存じます。

### ●当上半期の業績

(単位：百万円未満切捨)

	当上半期	前年上半期	増減
受注高	8,284	9,056	△771
売上高	7,736	8,736	△1,000
国内売上高	6,211	7,240	△1,029
海外売上高	1,524	1,496	28
営業利益(△損失)	△39	426	△465
経常利益	7	426	△419
四半期純利益(△損失)	△98	148	△246

### ●下期施策

今後の見通しにつきましては、景気の減速、政治の空白、日中間の緊張など厳しさが予想されますがグループ全体が連携してグローバルに展開して参ります。

#### 1. 顧客現場に密着して需要を拡大する

当社の得意とする顧客密着の営業スタイルを更に深化させ、技術者やサービス担当とともに徹底的に現場に入り、顧客ニーズの把握と新規顧客を獲得します。

東北復興に資するため、仙台営業所を増員強化して東北全体の市場を拡大します。また、南九州に新たな拠点を設置し、営業とサービスが連携して活動できる体制とします。

#### 2. 海外拠点を強化する

海外事業につきましては、アジア新興国の巨大な消費市場は成長が多少鈍化したとはいえ、今後も成長することは確実であり、それに対応すべく、海外拠点を充実させてまいります。

アセアン市場を開拓する為、タイに現地法人を設立致しました。中国においては「上海大華一千野」を営業中心の企業に、「千野測控設備昆山」を機器の生産と計装システムの海外供給拠点として再編致します。

#### 3. 新商品の開発と新技術の実証研究に取り組む

今年度発足したスマートソリューション開拓チームは様々なニーズに対応し、次の新商品を生み出す活動に重点を置きます。山形事業所には津波による土壌の塩害や放射能汚染の対策となる植物工場を設置し、新エネルギーを活用した実証研究を進めます。

これら積極的な施策を推進し、計画達成への執念を燃やし、全力を傾注してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月吉日

## トピックス

### タイに合併会社を設立

グローバル戦略の一環としてタイ王国のバンコクに当社代理店のAUTOMATION SERVICEと合併でチノータイランドを設立しました。

アセアン地域には自動車をはじめ日系企業が多数進出しており、新会社はこれら日系企業のサービス活動を足がかりに営業活動を行いながらアセアン各国の市場深耕をはかっていきます。

#### 【新会社の概要】

##### 会社名

CHINO Corporation (Thailand)

##### 資本金

700万バーツ

##### 出資比率

当社	49%
MHCB Consulting	27%
AUTOMATION SERVICE	24%

##### 役員

取締役会長	荻谷嵩夫
代表取締役社長	内藤正行
取締役	松本 正



チノータイランドの入居ビル

### 赤外線熱画像温度監視装置 CPA-RSを発売

リレーンズ式炉内温度監視装置CPA-Rの姉妹品となるCPA-RSを発売しました。セラミックス焼成炉、溶解炉の出湯温度や熱処理炉など高温域の温度監視に最適な装置です。

#### 特長

- ・標準レンズを採用し、設置、取扱いが容易
- ・視野角10° 20° 30° 40°の4種類の光学系を用意
- ・CCDカメラを採用し、ガラス越しでの測定が可能



CPA-RS



コントローラ

### ハイブリッドメモリーレコーダ (ペン書式) AL4000/AH4000 seriesを発売

記録紙とSDカードへの同時記録が可能なAL4000/AH4000シリーズにペン書式を追加発売しました。

昨年5月に発売した打点式は操作性に優れ、見やすい液晶表示などが好評でペン書式の発売が待たれていました。

#### 特長

- ・見やすく多彩なグラフィック液晶表示
- ・通信は同時に3ポート通信可能
- ・自由な演算式の構築が可能



AL4000



AH4000

### 無線ロガーMD8000 (ワイヤレスウォッチャ) を発売

無線ロガーMD8000は最大60台の送信器のデータを収集し、多彩な警報判定機能と外部出力によりワイヤレス監視システムを構築することができます。

#### 特長

- ・配線工事、電源工事が不要
- ・システム構築はパソコン上で簡単操作
- ・サーミスタ、熱電対、温湿度の各モデルを用意
- ・伝送距離は屋内約100m、屋外約400m (見通し距離)



無線ロガーMD8000  
(ワイヤレスウォッチャ)

## 決算の概要

### ◆連結貸借対照表（要旨）

（百万円未満切捨）

科目	当第2四半期 (平成24年9月30日現在)	前期 (平成24年3月31日現在)	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	13,534	14,390	△856
固定資産	6,669	6,555	113
有形固定資産	3,581	3,542	39
無形固定資産	666	560	106
投資その他の資産	2,420	2,453	△32
<b>資産合計</b>	<b>20,204</b>	<b>20,946</b>	<b>△742</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	5,227	5,448	△221
固定負債	1,994	2,063	△68
<b>負債合計</b>	<b>7,222</b>	<b>7,512</b>	<b>△290</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	12,656	13,015	△358
資本金	4,292	4,292	-
資本剰余金	4,072	4,072	-
利益剰余金	5,941	6,345	△403
自己株式	△1,648	△1,694	45
その他の包括利益累計額合計	△238	△153	△84
少数株主持分	562	572	△9
<b>純資産合計</b>	<b>12,981</b>	<b>13,433</b>	<b>△452</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>20,204</b>	<b>20,946</b>	<b>△742</b>

#### 【貸借対照表】

- ◎流動資産  
856百万円減少しました。主な増減は棚卸資産の増加390百万円、受取手形及び売掛金の減少970百万円であります。
- ◎固定資産  
113百万円増加しました。このうち有形固定資産は空調設備改修など39百万円の増、無形固定資産は情報システムの更新及びソフトウェアの開発など106百万円の増となりました。
- ◎流動負債  
221百万円減少しました。主なものは、支払手形及び買掛金の減少335百万円等であります。
- ◎固定負債  
長期借入金の減少等があり、68百万円減少しました。
- ◎純資産合計  
452百万円減少しました。主な要因は剰余金の配当300百万円であります。

### ◆連結損益計算書（要旨）

（百万円未満切捨）

科目	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前年同期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	増減
売上高	7,736	8,736	△1,000
売上原価	5,577	5,941	△363
<b>売上総利益</b>	<b>2,158</b>	<b>2,795</b>	<b>△637</b>
販売費及び一般管理費	2,198	2,369	△171
<b>営業利益</b>	<b>△39</b>	<b>426</b>	<b>△465</b>
営業外損益	47	0	46
<b>経常利益</b>	<b>7</b>	<b>426</b>	<b>△419</b>
特別損益	△43	△102	59
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>△35</b>	<b>323</b>	<b>△359</b>
法人税等	36	136	△100
少数株主利益	27	39	△12
<b>四半期純利益</b>	<b>△98</b>	<b>148</b>	<b>△246</b>

### ◆連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（百万円未満切捨）

科目	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前年同期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	621	208	412
投資活動による キャッシュ・フロー	△540	120	△660
財務活動による キャッシュ・フロー	△381	△324	△57
現金及び現金同等物 の増減額（△は減少）	△328	△57	△270
現金及び現金同等物 の期首残高	4,533	3,686	846
現金及び現金同等物 の四半期末残高	4,204	3,628	575

#### 【損益計算書】

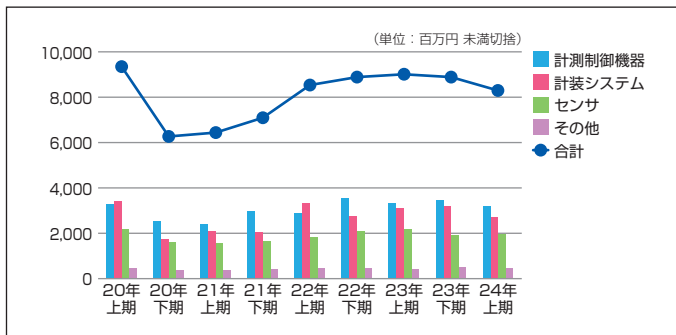
- ◎売上高の減少により営業利益はマイナスとなり、経常利益も減少しました。計装システムが前年同期比で24.2%減と大きく落ち込んだ結果、純利益は△98百万円となりました。

#### 【キャッシュ・フロー計算書】

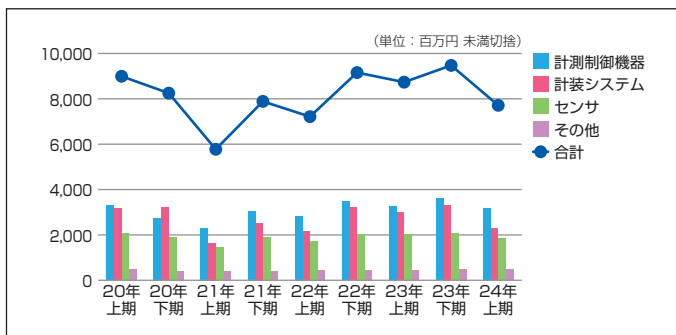
- ◎営業活動によるキャッシュ・フロー  
売上債権の減少928百万円、減価償却費317百万円等が主な増加要因、減少要因は棚卸資産の増加416百万円、仕入債務の減少310百万円であります。
- ◎投資活動によるキャッシュ・フロー  
主な支出は有形固定資産の取得298百万円、投資有価証券の取得178百万円であります。
- ◎財務活動によるキャッシュ・フロー  
配当金の支払い298百万円が主な減少要因であります。

# 業績グラフ

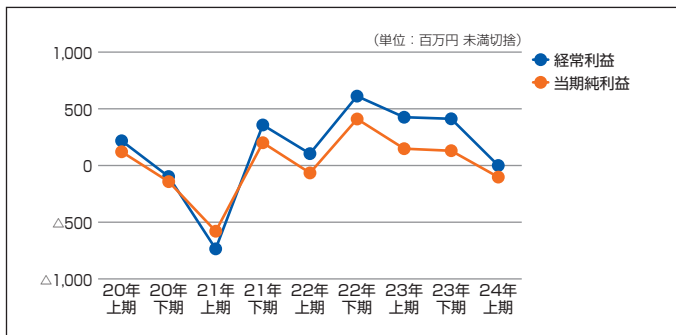
## ◆連結受注実績推移（セグメント別）



## ◆連結売上実績推移（セグメント別）



## ◆経常利益 当期純利益推移



# CSR（企業の社会的責任）報告

## ◆企業理念

「チノーグループは『特長・信頼・連帯』を軸に計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する」

## ◆環境経営

チノーグループは「産業の発展」「地球環境の保全」「快適で安全・安心な社会」の実現に寄与することを日常活動の目的とし、温度を軸とした特長ある専門メーカーとして高度なソリューションを提供しています。

☆環境配慮経営：環境マネジメントシステムISO14001の全社認証を取得し、省エネルギー、廃棄物の削減、製品のグリーン化を宣言し、環境負荷の低減に努めています。

☆環境支援製品：温度センサ、放射温度計、熱画像カメラ、燃料電池試験装置、カロリー計測装置を環境支援製品と定め、事業を通じて環境に寄与しています。

☆社会貢献活動：社員の親睦会「千交会」を通じて献血、森林整備ボランティア活動、奉仕活動を行っています。

## ◆CSR推進体制

### ☆コーポレートガバナンス

チノービジネス行動基準を定め、法令や社会規範を遵守し、公正で健全な経営に努めています。

- ・監査役会：取締役の職務および会計監査人の会計報告が適法であるか監査しています。
- ・内部監査室：金融商品取引法で定められた内部統制報告制度（J-SOX法）に関する諸制度の整備状況と業務の監査を行っています。
- ・コンプライアンス委員会：法令遵守の啓蒙活動や人権、ハラスメント、企業倫理に関する問題の解決に当たっています。

### ☆環境マネジメント

- ・品質管理部：ISO14001規程類の整備、内部監査、外部機関による定期審査などの認証維持活動を行っています。
- ・社長室CSR・CI担当：メディアへの情報発信、環境報告書の作成など、企業広報を行っています。

### ☆リスクマネジメント

- ・法務部：契約や取引でのトラブルを未然に防止したり、安全保障輸出管理に関する業務を行っています。
- ・BCP策定委員会：地震、風水害などの天災や重大事故を想定し、事業の継続をはかるため事業継続計画（BCP）を策定しています。

# 株式情報

(平成24年9月30日現在)

## ◆株式の状況

発行可能株式総数	119,100,000株
発行済株式の総数	47,800,580株
株主数	6,816名

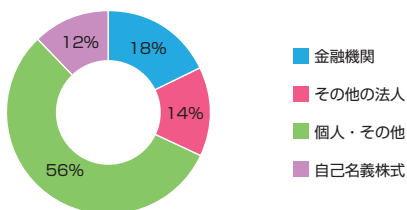
## ◆大株主

株主名	所有株数	出資比率
チノー取引先持株会	4,421 千株	9.25 %
チノー従業員持株会	1,770	3.70
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,694	3.54
株式会社りそな銀行	1,300	2.71
株式会社ニッカト	1,037	2.17
日本生命保険相互会社	1,000	2.09
株式会社北浜製作所	911	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	821	1.71
竹田和平	700	1.46
株式会社共和電業	700	1.46

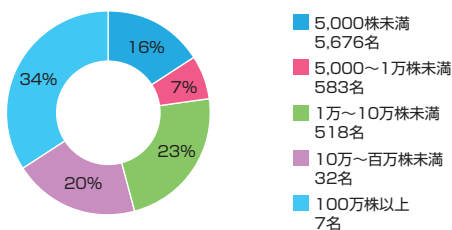
出資比率は発行済株式総数に対する所有株式の割合  
(ご参考)

株式会社チノー(自己保有株式)	5,679 千株
-----------------	----------

## ◆所有者別分布状況(所有株式比率)



## ◆所有株数別分布状況(所有株式比率)



# 会社概要

(平成24年9月30日現在)

◆商号	株式会社 チノー
◆設立	昭和11年8月1日 (創業 大正2年3月)
◆資本金	4,292百万円
◆従業員数	(連結) 945名 (単独) 652名
◆本社	〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8
◆役員	代表取締役社長 苅谷 嵩夫 取締役副社長 岸 智晴 専務取締役 齊藤 是郎 常務取締役 小針 哲文 常務取締役 森山 隆正 常務取締役 松本 正一 取締役 吉田 幸孝 取締役 清水 雄司 取締役 長谷川 泰司 取締役 山西 敬一 取締役 西田 喜彦 取締役 豊田 三男 常勤監査役 古谷 陽一 社外監査役 大原 澤真 社外監査役 原 隆三郎

## 主要な事業所

名称	所在地
本社・技術開発センター	東京都 板橋区
東京支店	東京都 板橋区
北部支店	埼玉県 さいたま市
大阪支店	大阪府 吹田市
名古屋支店	愛知県 名古屋市
藤岡事業所	群馬県 藤岡市
久喜事業所	埼玉県 久喜市
山形事業所	山形県 天童市
東京精工事業部	神奈川県 茅ヶ崎市

## 子会社

名称	所在地
株式会社チノーサービス	埼玉県 久喜市
株式会社チノーソフテックス	群馬県 藤岡市
三基計装株式会社	埼玉県 戸田市
株式会社浅川レンズ製作所	埼玉県 久喜市
アーズ株式会社	神奈川県 横浜市
CHINO Works America Inc.	アメリカ合衆国 ロサンゼルス市
上海大華-千野儀表有限公司	中華人民共和国 上海市
千野測控設備(昆山)有限公司	中華人民共和国 昆山市
韓国チノー株式会社	大韓民国 京畿道華城市
CHINO Corporation India Private Ltd.	インド ナビムンバイ市



# 株主メモ

- ◆ 決算期日 3月31日
- ◆ 定時株主総会 6月下旬
- ◆ 配当金受領株確定日 3月31日、9月30日
- ◆ 基準日 3月31日 そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告します。
- ◆ 公告掲載新聞 日本経済新聞
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部
- ◆ 株主名簿管理人  
及び特別口座の  
口座管理機関  
(連絡先) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

## (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## チノーホームページのご案内



IR情報を当社ホームページで掲載しておりますのでこちらからもご覧ください。

<http://www.chino.co.jp>

# CHINO

# 株式会社チノー

〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8  
TEL 03-3956-2111 (大代表)

